

みんなで作る田名の会 第2回全体会 議事概要

日 時：平成18年6月30日（金） 午後7時～午後8時30分
会 場：田名公民館 大会議室

1 会のあり方について

(1) 会の正式名称の決定

田名地域内に「田名のあすを拓く委員会」の名前で看板等が設置されたことに伴い、「(仮称)田名のあすを拓く会」と「田名のあすを拓く委員会」を混同し、田名地域の住民の誤解を招きやすいという理由から、現在仮称となっている「田名のあすを拓く会」の正式名称の候補が提案された。

名称案として「みんなで作る田名の会」、「田名のまちづくりを考える会」、「未来をつくる田名の会」の3つが企画会議から提案され、この3つの中から参加者の多数決により「みんなで作る田名の会」に会の名称が決定した。

「みんなで作る田名の会」・・・32票、「田名のまちづくりを考える会」・・・12票
「未来をつくる田名の会」・・・7票

(2) 会則（案）について

企画会議より会則（案）の説明。

＜質疑回答と意見＞

- ・第5条の全体会の位置付けが不明確ではないか。
→ 全体会は、最高決議の場で企画会議の意見を諮る場である。なお、全体会のメンバーとして、自治会など田名で活動する組織の代表の方などに声をかけて参加してもらっているが、その組織の代表ではなくなったからといって全体会（企画会議も含む）に参加できなくなるということではない。会員はあくまで団体代表ではなく個人参加という考え方であるので、今後も積極的な参加をお願いしたい。
 - ・全体会の構成人員の定数はあるのか。
→ 定数はない。
 - ・第4条の会員には任期、条件があるのか。
→ 任期、条件ともないが、会員の条件としては、あくまで田名出張所管区で在住、在勤、在学又は在活動する者である。
 - ・会員名簿はないのか。
→ 現在は作成していない。この会に初めて参加したときに記入してもらっているアンケートをもとに名簿を作成するかどうか、再度企画会議で検討したい。
- ⇒ その他の意見・質問がなかったため、会則（案）に関する参加者の採決を起立で求め、全参加者からの承認が得られた。

(3) 企画会議メンバーの確認

今まで企画会議に参加いただいた14名が紹介された。この14名のうち引き続き13名が企画会議メンバーということになった。なお、希望者は企画会議に有志として参加できることを確認した。

(4) 役員構成案（代表、副代表、総務 各1名）の検討及び選出

ア 役員構成案について

当面の間の役員構成として代表、副代表、総務の各1名の役員構成案が提案され、今後、会の発展状況に応じて臨機応変に変更していくとの説明が付された。

特段の意見もなく原案どおり役員構成について承認された。

イ 役員を選出

役員について立候補を募ったが、希望者がなかったため、参加者から代表、副代表、総

務の各1名について推薦があった。3者とも役員への就任を了解し、決定した。

2 防犯協会における今後の防犯対策について

田名地区防犯協会の会長より、今後の田名地区防犯協会の活動内容について説明がなされた。内容については、今まで「みんなで作る田名の会」で議論されてきたいくつかの防犯施策を防犯協会の施策として取り入れ、次の活動を行っていくというものであった。

① 防犯パトロールの強化

防犯パトロール時の防犯ベスト着用率はまだまだ低い。犯罪抑止面以外でも、小学生、通行人等との挨拶にもつながり効果が大きいので、今後も継続して広めていきたい。

② 犯罪連絡システムの構築

市で進めている安全・安心メールシステムの例示、推奨。

③ 防犯パトロール地点の表示

犯罪が発生した時に、発生地点を警察に正確に伝えることが出来ない。そのための「ここは田名〇〇〇番地」などの表示板を設置する。

④ パトロールについて

- ・近々田名専属の青パトカーによる巡回が実現する見通しである。
- ・パトロールデー（各自治会ごとに特定の日にパトロールを行ってもらう）実施の提案

⑤ 一般会員の公募

パトロールの参加者を増やすために、犬の散歩をする人、外出機会の多い人などは積極的に応募していただきたい。

3 情報紙（チラシ）の発行について

今回の情報紙作成担当より、情報紙作成イメージ案につき要点説明がなされた。見出しは、

- ①「みんなで作る田名の会」の設立、
- ② 防犯パトロールへの参加依頼、
- ③「安全・安心情報登録システム」の紹介、
- ④ 田名地区の犯罪発生状況を載せる予定。今後、情報紙の発行に関し、意見や要望があったら企画会議等の場に提案して欲しいとの話があった。

4 安全・安心情報システムへの登録の実演

企画会議メンバーより「安全・安心メール登録システム」の具体的な登録方法について説明され、各参加者には携帯電話を使って実際に登録してもらうよう案内された。

5 地域課題等についての情報交換

- ・安全・安心メール登録システムは携帯電話やパソコンを持っていない高齢者などには難しい面がある。そのため、防犯対策としてひばり放送などをもっとうまく活用できないか。
→ ひばり放送については、利用の制限があるため全て放送できるという実状にはない。今後の検討課題として市と調整が求められる。
- ・安全・安心メールを受信した後、各自具体的にどういう行動をとるべきか。
→ パトカーの巡回が増すなど、必ずその後の警察の行動に活かされる。地域の方も、不審者等を出さないことを意識して行動していただきたい。
- ・防犯灯に「田名～番地」と表示させることで、警察への通報時の目安にできるのではないか。
- ・相模川の河川敷の景観整備をより充実してほしい。
→ 相模川活用分科会では、約30～40人のメンバーで相模川の休耕田にコスモスを植える活動を行った。今後、他の花々も多く咲くような環境になれば、ボランティア要員を募ってきたい。さらには、相模川に花々の散策路ができるよう心がけて取り組んでいきたい。

6 今後の日程について

- ・第6回企画会議

日時：7月26日（水） 午後7時から

場所：田名公民館 小会議室